



きたまち学☆食

長期休み中の子ども達のための居場所



立東福祉館



北福祉館



開催場所：立東福祉館（北3-23-1）
北福祉館（北2-19-1）
開催日時：長期休み期間中

詳細はFacebookでご確認ください。
<http://www.facebook.com/profile.php?id=100082556024553>



北地域にある北福祉館や立東福祉館で、子どもを対象に食事と学習の支援を行う居場所です。学校の長期休み期間で限定的に実施しています。

始めたきっかけ

私がこの活動始める前は、主に子育て世代向けのイベントの企画・運営活動をしていましたが、昨今の子どもを持つ家庭を取巻く厳しい現状を見て、子ども向けの食や学習などの支援に携わりたいという気持ちが高まったことがきっかけです。

国立市の北地域に子どもの居場所が不足しているという課題を感じていることも理由にありました。

そこで地域のお母さん達と一緒に、地域の繋がり、特に異世代交流を軸に置いた子どもの居場所を開くことを考えました。



参加者の様子

参加者の多くは地域の小学生ですが、未就学児・中学生も訪れます。食事が提供されるまでの時間、それぞれが学校や習い事の宿題に取り組みます。

高校生や大学生が、勉強を教えられたり、気分転換にお絵描きをしたりしています。



(左) おにぎり弁当に興味津々な子どもたち。
(右上) 沢山の種類の駄菓子子を前に列を作る。(右下) 冬休みの習字教室の様子。

居場所としての役割

食事は地域のお店やキッチンカーなどの協力を受け、毎回異なるメニューを提供しています。子ども達にはおにぎりなどの軽食が人気です。

そのほか、夏には駄菓子屋さんに来てもらったり、この冬は、書き初めの宿題をシニア世代の方と一緒にやったりしました。

活動を始めてみて「地域の見守り」の大切さを実感しました。以前、参加したことのある子どもが町で声をかけてくれたことがとても印象的でした。



宮崎 彩乃 さん (RittouCAMP代表)



090-2243-4307

つり舟の子ども食堂

国立駅前の子ども食堂



¥0

大人は応相談

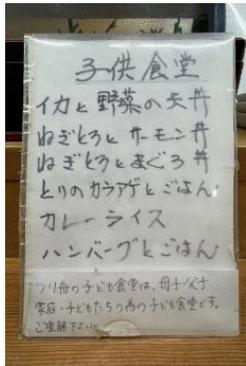
開催場所：白野ビル2階（東1-15-18）



開催日時：月・火・木・金・土・日（昼のみ）
 昼11:00～14:00
 夜17:00～19:00

☆予約不要
 お弁当配布も実施しています。
 （現在はハンバーグ弁当のみ）

和食料理屋による子ども食堂です。定休日を除き毎日実施しています。プロの料理人の湊さんが作る大盛りの海鮮丼や天丼はとて人気です。



子ども食堂のメニュー。海鮮丼が一番人気。

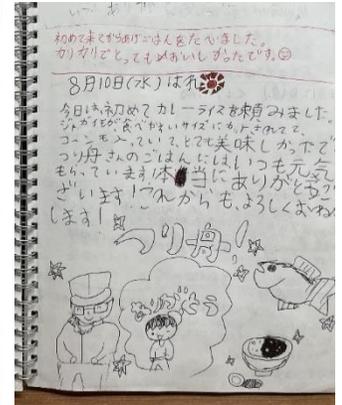
始めたきっかけ

お客さんから、“給食のおかわりが取り合いになっていて、お腹いっぱいにならない状況が増えている”という話を聞きました。

子ども達にお腹いっぱいになって欲しい、という思いから子ども食堂を始めました。



（左）落ち着いた雰囲気のカウンター。（右）「子供食堂思い出ノート」の1ページ。



利用してくれる方との関わり

ここでは来てくれるすべての人が気持ちよく食事をしてほしいと思っています。そのため、利用されるお子さんや保護者の方とのコミュニケーションに関しては、過度にならないよう適度なバランスを心掛けています。

この食堂のコミュニケーションの1つに、「子供食堂思い出ノート」を通したりとりがあります。利用される方が、食堂の感想や感謝の気持ち、最近の嬉しかったことなど、メッセージを書いてくれています。このメッセージが子ども食堂を続けていく中で、とても励みになっています。



湊 実さん（右から二番目）
 湊 由紀江さん（右から三番目）



042-576-9910



OSUSOWAKE食堂

東地域の子ども食堂



開催場所：東福祉館（東3-18-32）
開催日時：第1日曜日
11:00～14:00

☆サイトで前日までに予約
osusowake-online.com



2022年から、東地域唯一の子ども食堂として活動を開始しました。月1回、東福祉館の2階で子ども食堂の実施、また、お弁当配布・食品日用品子ども体験の提供をしています。

画期的な仕組み

ここの食堂は、ウェブサイトを通じて予約を受け付けています。もし、食堂を利用しづらいと感じている方がいても、お弁当のテイクアウト・デリバリーをすることが可能です。

様々なニーズを叶える仕組みにより、毎回100名程の方が食堂に参加しています。



「OSUSOWAKE」に参加する子ども。

フードパントリー事業

食堂の予約ウェブサイトにおいては、食材のやりとりも可能です。欲しい食材をもらったり、逆に余り物をサイトに掲載して、もらい手を探すこともできます。

食品のリアルタイム・オンラインマッチングの実現を目指しています。



(上) 夏にベランダで水遊びをする子どもたち。
(右) 大好評だった夏野菜カレー。



活気のある居場所づくり

いらっしゃる方には、OSUSOWAKE食堂を月に一度の「イベント」と思って欲しいです。単に食事をするだけでなく、2階のベランダは、簡易テントを張ったり、夏はプールを準備したり、スイカ割りを企画したりと、子ども達が楽しめるような空間を作っています。

周辺地域の団体や大学から、また小学生から年配の方まで幅広い年代の地域ボランティアの協力もあり、大変有難く思っています。



田中 千秋 さん（前列一番右）

参加して頂いたみなさんが望むように自由に過ごしてほしいです。



080-4444-2018

ぐるぐる食堂

思いめぐる谷保の子ども食堂



¥0 大人は300円

開催場所：コトナハウス(富士見台1-8-38)



開催日時：第1日曜日・第3日曜日

11:30~14:00

☆予約不要

詳細は開催場所のホームページをご確認ください。



月2回ほど、ダイヤ街商店街の一角にあるシェアハウス「コトナハウス」の1階のリビングスペースで実施している食堂です。



始めたきっかけ

2020年春、新型コロナウイルスによって、小中学校は休校になり公園や図書館等の公共施設までも封鎖されてしまいました。

子ども達が気兼ねなく来れる居場所が必要と感じ、自分の出来る範囲で子ども食堂を開きたいと思いました。

豊富な地域資源の活用

家族でいらっしゃる方が多いですが、お子さんだけで訪れる姿もあります。満席の時は、商店街内の他のお店で時間をつぶしたり、隣の公園で自由に遊んだりしながら、順番を待つことができます。



(左) 沢山の方が集まる居心地の良い空間。暖かいご飯が食べられる。
(上) 毎回の子ども食堂のメニューは、西加さんが異なるものを考案。

手伝ってくれる大人にとってもよい居場所に

ある方は、コロナ禍で在宅勤務のため、外出が減っていたところ、ボランティアとしてここに参加をすることで、元気な子ども達の声を聞くことがリフレッシュになった、と言ってくれました。他にも、利用者でボランティアもする学生の方もいらっしゃいます。

このように、ぐるぐる食堂には、ボランティアをしたいという希望を持って訪ねてくれる方が大勢います。みんなが一緒になり、富士見台地域の子どもの居場所を作り上げています。



西加 幸生さん

暖かい手作りの食事をおなかいっぱい食べて欲しいです。
食後は、お話ししたり、ボードゲームや絵本などで自由に好きに遊んで過ごしたりしても大丈夫です。



090-6118-9071



おいでよ。ごはんや

谷保駅前の子ども食堂



開催場所：やほのごはんや（富士見台1-17-8）



開催日時：毎週月曜日・水曜日
18:00～20:00

☆電話予約

080-8707-0889

谷保駅から徒歩1分ほどにある「やほのごはんや」で実施している子ども食堂。コロナ禍のため、現在は週に2回ほどお弁当の配布を実施しています。

始めたきっかけ

地元である国立市のために10年以上前から、子どもの居場所づくりをしていました。幼少期に絵を習いに通った芸術資源館（20～21ページに掲載）が、自分の子どもの居場所づくりの原点となっています。

食堂の様子

1回10名弱の方が利用されます。受け取りが難しい方に対してお家まで配達をすることもあります。

活動に賛同してくれる地域の農家の方がいらっしゃいます。数年前から、畑のお手伝いをして譲り受けた新鮮な有機野菜を使って食事を作ることもあります。

お弁当の配達や情報を共有、時に子どもと一緒に遊ぶなど、市内の他の実施団体とも連携しています。



(上) 市内の農家から提供を受けた立派な野菜。
(右) お持ち帰り弁当。



活動にかける想い

子ども支援と聞くと、子どもに対し大人が「してあげる」という構図になってしまうことが多いですが、自分の携わっている居場所では、子どもと大人が共に元気になれる場、となることを目指していきたいと考えています。



寺井 由美子 さん

お弁当の内容など、詳しくはInstagramをご確認ください。

@menu.gohan_ya





おいしいじかん

富士見台地域の子ども食堂



大人は300円

開催場所：生長の神の国寮の向かいの建物
(富士見台2-9-1)



開催日時：第1水曜日
17:00～18:30

☆予約不要



詳細はTwitterでご確認ください。
@oishijikann

児童養護施設「生長の神の国寮」の向かいの建物で実施。コロナ禍のため、月1回お弁当の配布をしています。「お弁当のピアス」から大人弁当の配布もあります。



スタッフによる創意工夫

季節感があり子どもが喜ぶお弁当を提供するために、スタッフ全員のアイデアを寄せ合っています。

12月は、とりの唐揚げ、ツナとコーンのサラダ、炒り卵のせご飯、デザートはうさぎリンゴで彩りよく可愛く作りました。

毎回添える季節の折り紙はサンタクロースでした。



カラフルで見た目も楽しいお弁当



受付でおしゃべりをしながらお弁当を待つ様子。

だれでも参加できるように

「おいしいじかん」は予約制を設けていません。毎回大人用・子ども用と合わせて130食のお弁当を準備しています。利用してくださる方の数は天候などにより変動がありますが、「ここに来れば、誰かと話せてお弁当を持って帰られる」場を提供し続けたいです。



谷口 素世子 さん (写真左から3番目)

子ども食堂運営にあたり、食品衛生責任者の資格を取得しました。
安全で安心できる食事を皆様に届けたいです。

☎ 090-1032-2433



つくし会多世代居場所事業 くにちゃん食堂

こどもからお年寄りまで
誰もが安心して集える地域のサロン



¥0 大人は300円

開催場所：オリーブ地域交流センター
看護小規模多機能オリーブ隣接
(富士見台4-10-1)



開催日時：
①子ども食堂→第1日曜日
(1・5・11月は第2日曜日)
11:00~13:00

②駄菓子屋→月~金13:30から
冬期16:00まで 夏季16:30まで

毎週水曜日に射的・型抜きなどのイベント実施

☆予約不要

矢川駅から徒歩1分の立地にある、医療法人社団つくし会の交流センター「オリーブ」で実施しています。子ども食堂の活動は2019年から始められ、矢川地域の数少ない子どもたちの居場所になっています。

子どもからお年寄りまで

「地域交流センター」としての機能を活かし、お年寄りの方から子ども達まで幅広い世代がここに集まります。

学校生活で悩んでいること、子育てにおける不安を、専門的な知見のあるスタッフに相談できます。

定期的に行われる手芸教室は、お年寄りの方と地域の子供達とが交流する場となります。

参加する方々それぞれが、役割を担い、ひとつの作品を作り上げることで、日常生活では得がたい自信や充実感が生まれるようです。



入口に並ぶ手芸作品。



多様な世代が集まるくにちゃん食堂。駄菓子や手芸作品を購入される方の姿も。

多様な目的を持つ居場所として

食堂の実施のほか、平日13時半から16時まで(夏季は16時半まで)、駄菓子の販売をしています。8月は子ども食堂を月に1回から3回に増やしたり、自習室を開放したりしました。希望者に対しては、学習の個別サポートも実施しました。

駄菓子屋さんとしての活動を通じて、多くの方々にこの居場所の存在を知って欲しいと思っています。



福島 夕夏さん

いらっしゃる方には地域住民の一員として、気兼ねなく過ごしてほしいです。子どもからお年寄りまでが安心して集える場所であることが目標です。



たまご(多孫・他孫)食堂

中地域の子ども食堂



¥0 大人は500円

開催場所：中地域防災センター（中2-10-7）



開催日時：第2・第4日曜日
11:30~13:30

☆団体LINEで事前予約



なかなかいい会「中地域防災センター」で開催している子ども食堂。

手作りの
キーマカレー
や地域応援
のお弁当を
用意しています。
お持ち帰り、
大人だけで
利用すること
も可能です。



チラシは日本語の他、英語、中国語表記も。

たまご（多孫・他孫）の由来

主催の「なかなかいい会」は、中地域を暮らしやすい街にしたい、という想いで活動している団体です。

「多くの子どもを、自分の孫のように可愛がり、地域全体が大きな家族のようになったら」と考え、2019年に子ども食堂を始める際に名付けました。



(上) 定番メニューのキーマカレー。
(左) 工作コーナーの様子。大人も子ども真剣。

楽しい・嬉しい・安心な居場所に

0歳児からお年寄りまで幅広い年代の方から利用されています。ボランティアも市内外問わず多くの方が参加しており、多世代交流の場となっています。また、近隣に公民館や一橋大学国際交流会館があり、外国籍の方もボランティアや利用者として参加しています。

食事以外にも、建物前のスペースを活かし様々なイベントを実施しています。その中でも毎回の工作コーナーは、お子さんに限らず保護者の皆さんからも好評です。その他、音楽会や“おさがりパズル”、季節ごとに、縁日・ハロウィン・クリスマス等のイベントも行っています。



木島 香織さん（前列中央）
国立市社会福祉協議会

この場所が「地域」の繋がりを感ぜられるみんなにとっての「居場所」となればと思います。

詳細はInstagram・Facebookでご確認ください。



@TAMAGO_SYOKUDOJU

